

報道機関各位



我孫子市

Abiko city

令和7年2月28日
報道提供資料

我孫子第二小学校6年生
湖北小学校体育館の再建に向けた寄付について

湖北小学校体育館の再建に向けて、3月4日に我孫子第二小学校6年生代表児童3人が、湖北小学校長田校長と湖北小学校児童会役員4人へ、寄付金の3万円と湖北小6年生児童への応援の手紙を届けます。

日時：令和7年3月4日（火）午後1時～1時30分

場所：我孫子市立湖北小学校（2階 会議室）

出席者：我孫子市立我孫子第二小学校 蒲野 毅 校長

伊藤 陽介 教諭（6年担任）

6年生代表児童3人

我孫子市立湖北小学校

長田 英一 校長

児童会役員4人

寄付の詳細は、別紙「我孫子第二小学校6年生 湖北小学校体育館の再建に向けた寄付について」をご参照ください。

※児童の下校の都合により、取材は午後1時～1時45分までを予定しています。希望する方は3月3日（月）午後1時までに秘書広報課広報室（メールまたは電話04-7185-1269）にご連絡ください。

【問い合わせ】

教育委員会教育総務部指導課

担当：森谷

☎ 04-7185-1367

我孫子第二小学校6年生 湖北小学校体育館の再建に向けた寄付について

令和7年2月26日
我孫子市立我孫子第二小学校
校長 蒲野 毅
第6学年担任 伊藤 陽介

1. 活動の趣旨

①これまで、「我孫子市の魅力を発信し、地域活性化を図るため」に活動してきた我孫子第二小学校児童の取り組みを価値づけ、児童が地域に積極的に関わろうとする態度を養うこと。

【総合的な学習の時間の視点】

②我孫子第二小学校児童と湖北小学校児童が交流する場を作ることで、互いに相手の立場を考え、相手の気持ちを思いやる心を育てること。

【特別の教科 道徳の視点】

地域社会や地域の他者(仲間)を思いやろうとする 子どもたちの「心」を育てること

2. 活動の経緯

①総合的な学習の時間の実践について

我孫子第二小学校児童は、年間の総合的な学習の実践において「我孫子市の魅力を多くの人に発信すること」を目的として活動してきた。

地元産野菜の魅力を広めるため、自ら校地を開墾し、トマトを栽培、収穫した。そして、川村学園女子大学や日本瓦斯会社、洋菓子の店フルールさんなど、多くの地域の方々の支えを受けながらオリジナル商品の「あびこたっぷりトマトマフィン」を開発。11月10日(日)のニチガス FESTA にて、約400個を完売し、約5万円を売り上げた。

この収益金を、児童は「お世話になった地域のために役立てたい」と考えていた。

②小中一貫教育 Abi-道徳の取り組みから

児童は、11月の Abi-道徳の学習において、我孫子の先人、田口静の生き方を通して、地域について学んだ。その際、田口静の銅像が地域の人々の寄付によって建てられたことを知った。また、「広報あびこ」11月16日号を通して、湖北小学校の体育館再建のために、今でも地域の方からの善意によって多くの寄付が集まっていることを知り、地域の結びつきの大切さについて改めて考えた。

そこで児童は、自分たちの得た収益金を、湖北小学校の体育館再建の費用のために役立てたいと考えた。3学期、総合的な学習実行委員を中心に学年集会を開き、学年の67人の児童で収益金の残りの使い道について合意形成し、湖北小学校へ寄付をすることに決定した。

3. 寄付金の受け渡しについて

【日 時】2025年3月4日(火) 13:00~13:30

【場 所】我孫子市立湖北小学校

【内 容】我孫子第二小学校6年生代表児童(3名)が、湖北小学校 長田校長先生と湖北小学校児童会役員(4名)へ、寄付金の3万円と、湖北小6年生児童への応援の手紙を届ける。